



professional mixing controller

**PMC-580Pro**

**取扱説明書**

ベスタクス株式会社

〒154-0023

東京都世田谷区若林1-18-6

電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013

---



## ごあいさつ

この度は、ベスタクスキングコントローラーPMC580Proをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いいたします。

### 目次

ご使用上の注意	3
安全上のご注意	4
本機の特徴	5
各部の名称と働き	7
PGMエフェクターの機能・操作	11
MICエフェクターの機能・操作	16
MASTERエフェクターの機能・操作	17
主な仕様	22
故障かな？と思ったら	23
保証、アフターサービス	23

## ご使用上の注意

### 電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

### 設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

### お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

### 修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方（過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

### その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分）を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



## 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け



分解禁止



指を挟まれないよう注意

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグを  
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

## PMC-580

名機PMC-50の系譜を引き継ぐ、24bitフルデジタル次世代ミキサーの登場です。

各チャンネルにLOOPを含む独立した7種類のエフェクト機能を搭載。加えて、マスター部とマイクチャンネルにも独立したマスターエフェクトユニットの装備したことにより、同時に6種類の異なるエフェクト処理、しかも異なるパラメーターのコントロールが可能という驚異的なスペックを持ちながら、DJがリアルタイムで直感的に操作できるレイアウトは、ベスタクスならではのフラッグシップミキサーとなっています。もちろん、USBおよびSP-DIFデジタルIOやAD/DA後のアナログ回路、モニター/ブースアウトに2band EQの装備等、NEXT STYLE DJの現場の声を最大限に取り入れた究極のミキサーPMC-580です。

### <本機の特徴>

#### ●華麗なDJプレイを最大限に演出する6種類のch独立型PGMマルチエフェクターを搭載

直感的なエフェクト操作を可能にする各PGMごとに独立して配置されたエフェクターに加えて、独立したMICエフェクト、MASTERエフェクトをマルチに装備。同時に最大6種類ものエフェクトをかけることができます。このモンスター機能を再現するために、5つのDSP(digital signal processor)と、3つのCPUを搭載し、最大級のフルデジタルDJミキサーが完成しました。

<p>&lt;MIC エフェクター / 3種類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ピッチシフトエフェクト</li> <li>○ディストーションエフェクト</li> <li>○マイクエコーエフェクト</li> </ul>	<p>&lt;Master エフェクター / 11種類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○AUTO LPF(オート ローパスフィルター)</li> <li>○AUTO BPF(オートバンドパスフィルター)</li> <li>○AUTO HPF(オートハイパスフィルター)</li> <li>○FLANGER(フランジャー)エフェクト</li> <li>○PHASER(フェイザー)エフェクト</li> <li>○DELAY(ディレイ)エフェクト</li> <li>○REVERB(リバーブ)エフェクト</li> <li>○AUTO PAN(オートパンニング)エフェクト</li> <li>○PITCH SHIFT(ピッチシフト)エフェクト</li> <li>○TREMLOLO(トレモロ)エフェクト</li> <li>○PANNING DELAY(パンニングディレイ)</li> </ul>
<p>&lt;PGM エフェクター / 6種類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○LOOP(フレーズループ)エフェクト</li> <li>○DELAY(ディレイ)エフェクト</li> <li>○LOWカットDELAY(ディレイ)エフェクト</li> <li>○REVERB(リバーブ)エフェクト</li> <li>○FLANGER(フランジャー)エフェクト</li> <li>○FILTER SWEEP(フィルター可変)エフェクト</li> </ul>	

#### ●CLUB DJが求める、直感的なエフェクトプレイを可能にする、エフェクトSWモード

-マルチなPGMエフェクト操作を可能にする、エフェクトスイッチタイプセレクト機能を搭載。

##### <モーメンタリーモード>

-DJ中に、ココ！というポイントでエフェクトをかけるための“モーメンタリー”タイプでは、欲しいエフェクト効果のボタンを瞬間的にONし、ボタンを押している間だけそのエフェクト効果をかけられます。

##### <オルタネイトモード>

-長いフレーズでエフェクト効果をかけるときに便利な“オルタネイト”タイプでは、そのエフェクトボタンを一度押してエフェクトON、もう一度押してエフェクト解除という操作になります。

\* 同じエフェクトでも、スイッチタイプのモードにより、エフェクトのかかり方が変わるエフェクト効果もあります。

-各PGMチャンネルには、それぞれの音楽ジャンルで使い分けが可能 3BANDイコライザー / 3BANDアイソレーターの切り替え機能を搭載。

-オートBPMカウンター & タップBPMカウンターに連動した BEAT KEY機能を搭載。

曲のテンポを計測し、そのBPM(1分間のビート数)値に連動して、エフェクト効果の拍を自在にコントロールすることができます。(BPM値をベースに 8、4、2、1、3/4、2/3、1/2、1/4、1/8拍でコントロール可能)

対象エフェクト:	<p>&lt;PGM&gt; LOOP/DELAY/LOW cut DELAY/FLANGER</p>
	<p>&lt;MASTER&gt; AUTO HP,BP,LP/FLANGER/PHASER/DELAY/ AUTO PAN/TREMLOLO/PANNING DELAY</p>

## ●至高のCLUBサウンドを実現するための、高音質設計

- エフェクト処理で3系統、音声ミキシング処理で2系統、計5個の高性能DSPチップを搭載。
- デジタル⇄アナログ間での音声変換処理を担うAD/DA部には、高性能なAsahikase社のチップ技術インハンスト・デュアルビットΔ方式を採用。(48kHz / 24 bit処理: 音声部、エフェクト部)
- CLUBサウンドの重低音感をリアルに再現するための電源部には業務用の大容量ACアダプターを採用し、また、音声回路を作りだす内部電源を±18Vで駆動。これにより、±24dBものヘッドルームを持ち(アナログ出力部)、迫力のある音声信号を生み出します。
- PCメディア・MP-3ソース～CDソースの音量差を広くカバーすべく、開発されたHI GAIN TRIMコントロール回路を採用。

## ●入出力部

- 48kHzのサンプリングレートに対応したデジタル出力部と、32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzに対応したデジタル入力部を2ch搭載し、デジタル機器接続での音質劣化のない音響システムを実現。
- USB入出力回路を搭載し、PCからの音楽メディア再生やPCへの音楽ファイル録音が可能。(このUSB回路は、PCのOS(オペレーションシステム)に標準装備されているドライバーデバイスを使用するため、PC設定時のドライバーインストール作業は必要ありません。)

## ●操作部

- 高精度のミックスにはかかせない、滑らかな60mmスライドボリュームをインプットフェーダー部に採用。
- クロスフェーダーには、VESTAX DJ ミキサーで定番の“CF-PCV”フェーダーを使用。さらにフェーダーカーブコントロール機能を備えているため、ミックスだけではなく、スクラッチプレイにも対応するオールジャンルプレイを実現。
- 3つの独立したマルチエフェクター機能を操作するパラメーター群と、通常のミックスプレイ時の操作系とのミキサーパネル上での混在をさせ、CLUBプレイ中に直感的に操作できるパネルレイアウト。
- エフェクトプレイ時にはかかせない、エフェクトアクションを可能にする、大型エフェクトノブを採用。
- 消耗頻度の高いインプットフェーダー部、クロスフェーダー部を容易に交換できるように、デタッチャブルパネルを採用。

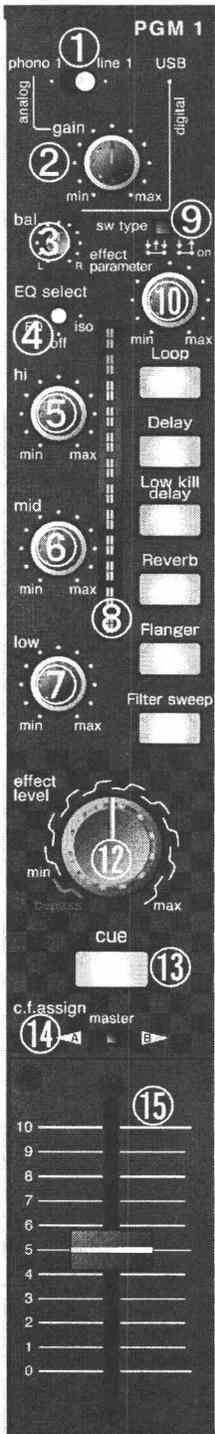
## ●for CLUB DJ

- プレイヤーの大事なミックスプレイをサポートすべく、BOOTH OUTとヘッドホン出力セクションには、“2 BANDイコライザー”+“STEREO / MONOセレクトスイッチ”+“CUE/MASTERセレクト機能”を装備。
- MICパフォーマンスをより向上させるため、MIC“2 BANDイコライザー”+“TRIMボリューム”+“TALKOVER”機能を搭載。
- CLUB現場では必須のXLR出力端子を、MASTER / BOOTH OUTに搭載。

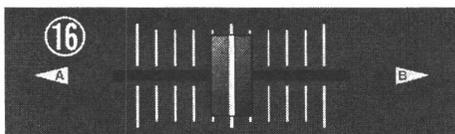
## ●OPTION

- PCを使ったDJメディア各種に対応すべく、フロントパネル部に“DX in / DX out”をオプション装備できるDXパネルを装備。

PROGRAM SECTIONの名称と働き

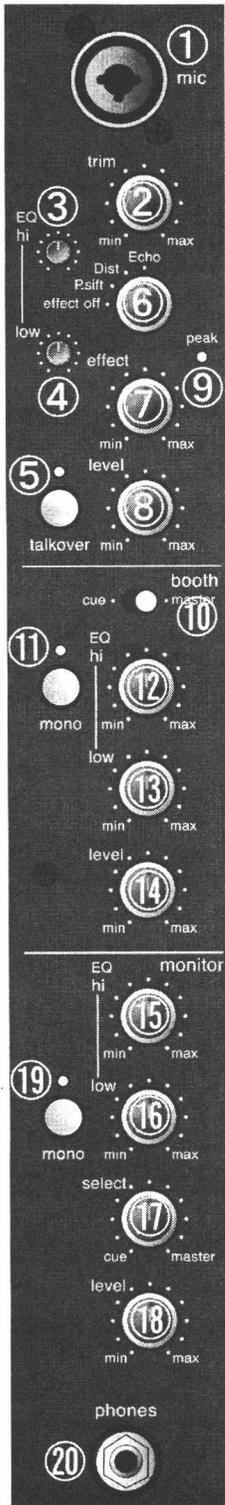


- P-① INPUT SELECT SWITCH  
各プログラムch毎に入力する信号を選択します。(Phono/Line)
- P-② GAIN VOLUME  
各プログラムchの入力レベルを調整します。
- P-③ BALANCE VOLUME  
各プログラムchの信号のL/Rバランスを調整します。
- P-④ EQ SELECT SWITCH  
各プログラムchの音質調整を“EQ”、“OFF”、“ISOLATOR”の3種類から選択します。
- P-⑤ EQ HI  
P-⑥ EQ MID  
P-⑦ EQ LOW
- EQ選択時  
BOOST⇒+12dB, CUT⇒-12dB  
●ISOLATOR選択時  
BOOST⇒+10dB, CUT⇒-∞
- P-⑧ PGM LEVEL METER  
各プログラムのレベルを表示します。
- P-⑨ EFFECT SW TYPE  
PGMエフェクトのスイッチタイプを切り替えます。  
(オルタネイト/モーメンタリー)
- P-⑩ EFFECT PARAMETER  
P-⑪ PGM EFFECT BUTTON  
P-⑫ EFFECT LEVEL  
各エフェクターの説明部分をご参照ください。
- P-⑬ MONITOR CUE BUTTON  
各プログラムchの音声をモニターするスイッチです。  
(PGMエフェクト後、IF前の音声をモニターします。)
- P-⑭ CF ASSIGN SWITCH  
各プログラムchの音声を(P-⑯)クロスフェーダーの“A側”、“OFF”、“B側”に振り当てます。
- P-⑮ INPUT FADER VOLUME  
各プログラムchの音声レベルを調整します。



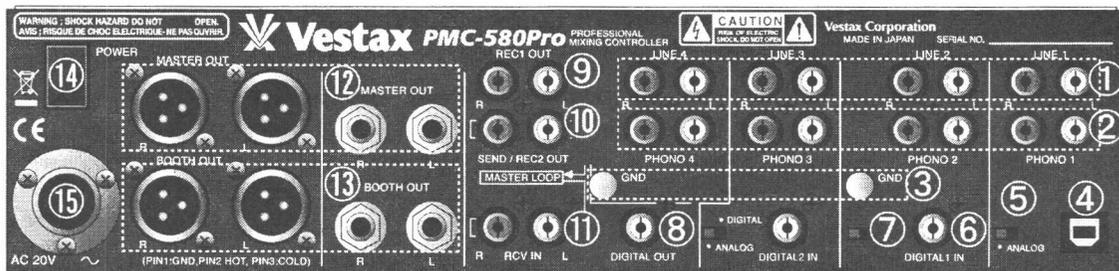
- P-⑯ CROSS FADER VOLUME  
(P-⑭)CF ASSIGN SWITCHによって振り当てられたCF A側、B側の音声MIXバランスを調整します。

MIC / BOOTH OUT / MONITOR SECTIONの名称と働き



- M-① MIC INPUT JACK**  
マイクを接続します。φ 6.3標準モノプラグ(アンバランス)とXLRプラグ(バランス)に対応するコンボジャックです。
- M-② MIC TRIM VOLUME**  
マイク入力音声の入力レベルを調整します。
- M-③ MIC EQ HI**  
**M-④ MIC EQ LOW**
- MIC EQ  
BOOST ⇒ +12dB  
CUT ⇒ -12dB
- M-⑤ TALK OVER SWITCH**  
各プログラムchのMIX音声出力のレベルを下げて、マイクの音声を鮮明に出力するスイッチです。
- M-⑥ MIC EFFECT SELECT SWITCH**  
マイク専用エフェクター種類の選択スイッチです。
- M-⑦ MIC EFFECT VOLUME**  
各マイクエフェクトのパラメーターを調整します。  
マイクエフェクトの説明部分をご参照ください。
- M-⑧ MIC LEVEL VOLUME**  
マイク音声レベルを調整します。
- M-⑨ MIC PEAK INDICATOR**  
マイク音声のレベルが過大である時に点灯します。
- B-⑩ BOOTH SELECT SWITCH**  
BOOTH OUTから出力する音声を選択します。  
(CUE/MASTER)
- B-⑪ BOOTH (MONO/STEREO) SELECT SWITCH**  
BOOTH出力のMONO/STEREOを選択します。
- B-⑫ BOOTH EQ HI**  
**B-⑬ BOOTH EQ LOW**
- BOOTH EQ  
BOOST ⇒ +12dB  
CUT ⇒ -12dB
- B-⑭ BOOTH OUT LEVEL VOLUME**  
BOOTH OUTから出力される音声のレベルを調整します。
- Mo-⑮ MONITOR EQ HI**  
**Mo-⑯ MONITOR EQ LOW**
- MONITOR EQ  
BOOST ⇒ +12dB  
CUT ⇒ -12dB
- Mo-⑰ MONITOR SELECT VOLUME**  
ヘッドホンに出力する音声を選択するボリュームです。  
(CUE/MASTER)
- Mo-⑱ MONITOR VOLUME**  
ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。
- Mo-⑲ MONITOR (MONO/STEREO) SELECT SWITCH**  
ヘッドホン出力のMONO/STEREOを選択します。
- Mo-⑳ MONITOR OUTPUT JACK**  
ヘッドホンを接続します。

## REAR PANEL SECTIONの名称と働き



### R-① LINE INPUT JACK

各PGMのラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、MDプレイヤー、DAT、VTR音声、MP-3プレイヤー、オーディオインターフェース等のアナログ信号を入力して下さい。

### R-② PHONO INPUT JACK

各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。

(注) MCカートリッジを御使用になるときは、別途アンプ・昇圧機器が必要です。

### R-③ GND TERMINAL

ターンテーブルのアース端子線を接続して下さい。

### R-④ USB IN/OUT JACK

PCと接続してPC内の音声データを入力したり、ミキサーの出力をPCに送ることが出来ます。

\*PCと接続すると、PC内のOS内に標準で搭載している“USBオーディオデバイス”が自動で立ち上がります。このため、PCへのドライバーCD等のインストール作業は必要ありません。

### R-⑤ USB/ANALOG SELECT SWITCH

PGM1のチャンネルをアナログ入力又は、USB経由のPC音声用かを選択するスイッチです。

(注) USBを選択した際は、PGMパネル操作部の“GAIN(P-②)”の機能はキャンセルされます。

### R-⑥ DIGITAL INPUT JACK

デジタル同軸入力端子です。CDプレイヤー等のデジタル同軸出力端子と接続します。

### R-⑦ DIGITAL IN/ ANALOG SELECT SWITCH

PGM2又は3のチャンネルをアナログ入力又は、デジ

(注) DIGITALを選択した際は、PGMパネル操作部の“GAIN(P-②)”の機能はキャンセルされます。

### R-⑧ DIGITAL OUT JACK

デジタル同軸出力端子です。(REC出力のデジタル信号を出力します。)

### R-⑨ REC1 OUTPUT JACK

REC音声を出します。(REC出力音声はMASTERやBOOTHボリューム前の音声です。)

### R-⑩ SEND/REC2 OUTPUT JACK

AUX送用の出力ジャックです。外部エフェクターの入力端子に接続してください。また、(R-⑨)REC1と同じ音声を出しますので、2番目のREC出力端子としても御使用ください。

### R-⑪ RCV INPUT JACK

AUXレシーブ用の入力ジャックです。外部エフェクターの出力端子に接続してください。

### R-⑫ MASTER OUTPUT

マスター音声出力します。アンプ等の機器に接続してください。φ6.3 phoneジャックはアンバランス出力、XLRジャックはバランス出力(HOT2pin)に対応。

### R-⑬ BOOTH OUTPUT

BOOTH OUT部の音声を出します。アンプ等の機器に接続してください。φ6.3 phoneジャックはアンバランス出力、XLRジャックはバランス出力(HOT2pin)に対応。

### R-⑭ POWER SWITCH

本機の電源スイッチです。

本機専用の“VESTAX AC-20”アダプターを接続してください。それ以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合弊社で保証しかねますのでご了承ください。

### R-⑮ AC ADAPTOR INPUT JACK

このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプ等のボリュームを下げるか、電源をお切りください。本機の電源ON/OFFの際に発生するノイズにより、スピーカーなどの接続機器に悪影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。



F-①⑥ MONITOR OUTPUT JACK  
ヘッドホンを接続します。

F-①⑦ C.F. CURVE VOLUME  
クロスフェーダーのカーブを調整します。  
MIN⇒“ミックスカーブ”  
MAX⇒“スクラッチカーブ”

F-①⑧ I.F. CURVE VOLUME  
インプットフェーダーのカーブを調整します。

F-①⑨ OPTION SLOT

## PGMエフェクター機能・操作

### エフェクトスイッチタイプセレクト機能(PGMエフェクトに対応)

PGM(プログラムCh)エフェクト部のボタン操作方法は2種類あります。

 : オルタネイトモード

PGM内のあるエフェクトボタンを1回押すと、そのエフェクトはONになり、もう一度そのボタンを押すとOFFになる操作モードです。1つのエフェクトを何フレーズ分も長くかけたい時に適しています。

 : モーメンタリーモード

エフェクトボタンを押している間だけ、エフェクトがかかります。ボタンを離すとOFFになります。“ココ！”という瞬間的なエフェクト操作に適しています。

\* エフェクトの種類により、上記モードによる操作方法が変わります。

### PGMエフェクト機能

PMC580は各PGMチャンネルに独立した6つのエフェクターを搭載しています。(PGMごとに1種類づつ、種類の違うエフェクターを選べます。  
(Ex. PGM1→delay, PGM2→loop, PGM3→flanger, PGM4→reverb等)

また、選択したエフェクトの音色を

“effect parameter” : エフェクターのかかり具合を調整します。

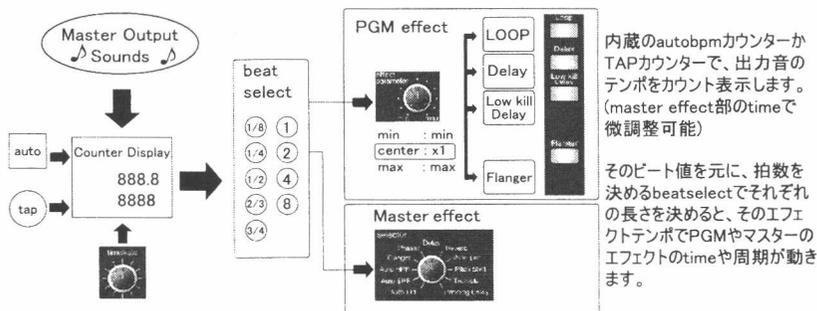
“effect level” : エフェクター音とbypass音の割合を調整します。

の2つの操作ボリュームで調整することが出来ます。

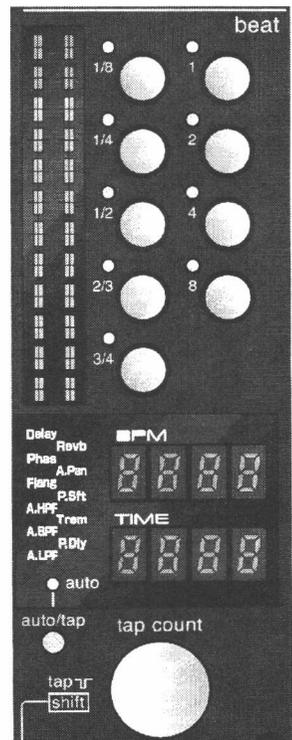
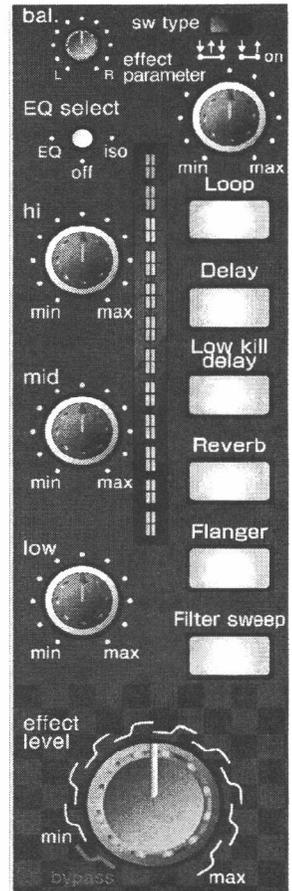
\* エフェクトの種類により、上記操作ボリュームの役割が変わります。

### BPM 連動機能

本体右側に搭載されているAUTO BPMカウンター、TAP BPMカウンターのビートにあわせて、各エフェクターのTimeや周期が連動して動作する機能です。



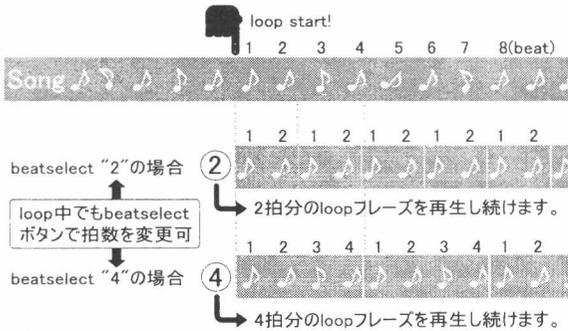
エフェクターの動きは、エフェクト種類によって異なりますので、各エフェクト操作説明をご参照ください。



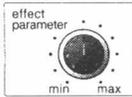
PGMエフェクター機能・操作

**LOOP**

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせてループ再生を行います。ループの長さはモノラルで最大5,400msの長さのフレーズをループ再生できます。

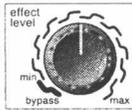


(effect parameter)



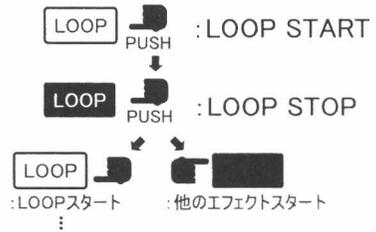
BEATセレクトボタンによって設定されたLOOPの長さ(拍数)を、 $\times 1/8 \sim \times 8$ の範囲で調整可能。ボリュームセンター(クリック有)では、常にBEATセレクトの長さ $\times 1$ になります。

(effect level)



DRY音とLOOP再生音の音量バランスを調整。センターで、1:1の音を出力します。

sw type **LOOP** : オルタネイトモード時のLOOP動作



sw type **LOOP** (SHOTサンプラーモード)  
: モーメンタリーモード時のLOOP動作



(注) このLOOPメモリーを消去するには、他のエフェクトに変更するか、SW Typeを変更してください。

**Delay**

: デジタルディレイ

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせてディレイの長さを調整できます。ディレイタイムはステレオで最大2,700ms。

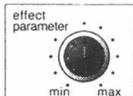
**LOW Kill Delay**

: LOW kill  
デジタルディレイ

低音域の音をフィルター機能でマスクして、中高音域の音だけにかかるデジタルディレイ。ディレイ仕様は上記と同じ。

DELAYボタンをONにしたDELAYスタート点から、常に最大長さ分を取り込み、各パラメーターで設定されたDELAY時間でリピートします。また、ディレイ再生中に、BEATセレクトやTIMEパラメーターを変化させることも可能。( \* ディレイ動作中にTIMEパラメーターを変化させると、そのタイム幅に伴いアナログディレイ風に音色が連続的に変化します。 )

(effect parameter)



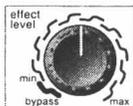
BPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたDELAYTIME(拍数: "DELAY TEMPO値")を調整できます。

min = DELAY TEMPO値  $\times 1/8$

センター = DELAY TEMPO値  $\times 1$

max = DELAY TEMPO値  $\times 8$

(effect level)

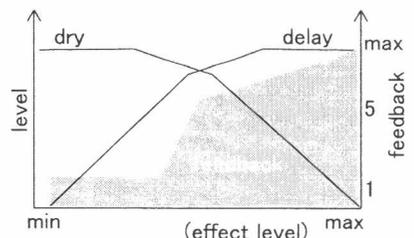


DRY音とDELAYの音量バランス及び、ディレイのFEEDBACK(繰り返し回数)も調整出来ます。

min = FEEDBACK 1回

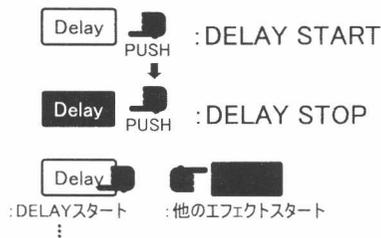
センター = FEEDBACK 2-3回位(音量による)

max = FEEDBACK MAX(holdしません)

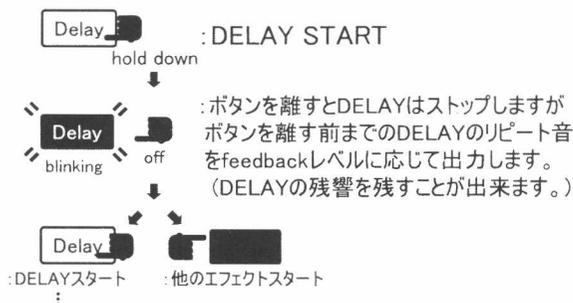


## PGMエフェクター機能・操作

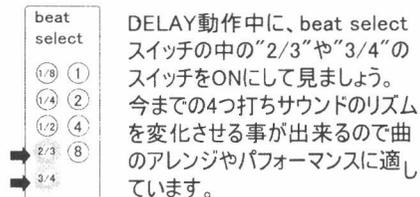
sw type **Delay** **LOW Kill** **Delay** : オルタネイトモード時のDELAY動作



sw type **Delay** **LOW Kill** **Delay** : モーメンタリーモード時のDELAY動作

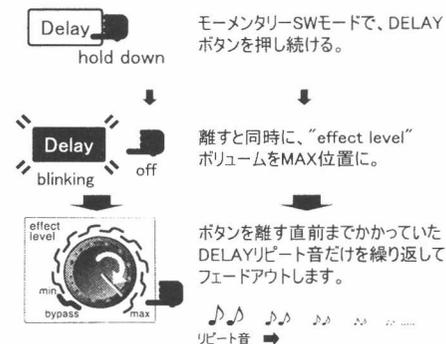


### tempo DELAY効果を使った DJテクニック



### tempo DELAY効果を使った DJテクニック

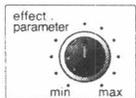
PGMエフェクトでDELAYのリピート音だけを残響として残す方法です。次のトラックとのつなぎ目にも有効です。



## Reverb : リバースエフェクト

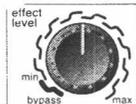
リバース効果を得るエフェクトです。リバースのサイズ調整と入力音:リバース音のMIX調整が可能です。また特殊効果として、リバースエフェクトへの入力音のカット(残響音のみ出力)も出来ます。

(effect parameter)



:リバースの反響音の効果を設定します。ボリューム値の min~maxの操作で反響小⇒大まで調整できます。

(effect level)

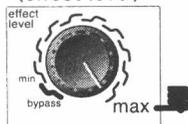


:DRY音とリバース音のバランスを設定します。このボリュームをmaxにすると、リバースエフェクトへの入力音のカットされて、残響音だけが出力されます。

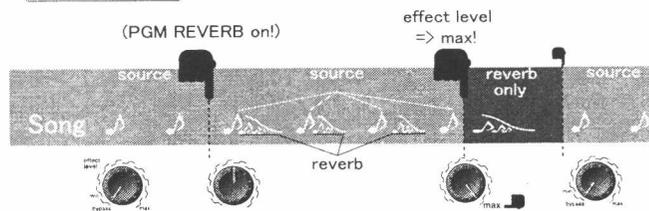
### 特殊リバース効果を使った DJテクニック

PGMエフェクター部に搭載しているリバースエフェクトはDJプレイにあわせた、特殊仕様のリバースが搭載されています。

(effect level)

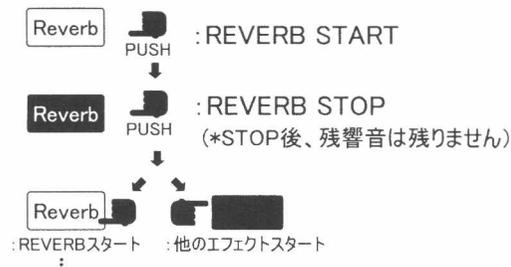


effect levelボリュームをmaxにすると、リバースエフェクトへの入力音のカットされて、その直前までの残響音だけが出力されます。フレーズ間のアクセントや、曲のつなぎの際にこの効果をお試しください。



## Reverb

sw type **Reverb** : オルタネイトモード時のREVERB動作



sw type **Reverb** : モーメンタリーモード時のREVERB動作

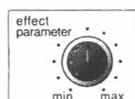
リバース動作にて、SWタイプがモーメンタリーSWモードの時は、REVERBボタンを押しているときは通常の動作をして、離れたときはエフェクトへの入力音を切り、その直前までのREVERBの残響音を残しながらフェードアウトします。



## Flanger : フランジャーエフェクト

フランジャーは、数ミリ・秒遅らせた音を周波数変調しそれをダイレクト音に重ねて入力にフィードバックすることにより、効果を得られるエフェクトです。また、このフランジャーはオート又はマニュアルで計測されたBPMカウンター値とBEATセレクトモードで選択した小節数にあわせた周期で自動的にLFOの周期が調整されます。

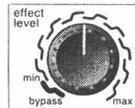
(effect parameter)



BPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたフランジャーのLFO周期を調整できます。

min = "LFO RATE時間" × 1/8  
センター = "LFO RATE時間" × 1  
max = "LFO RATE時間" × 8

(effect level)



DRY音とFLANGERの音量バランスを調整出来ます。

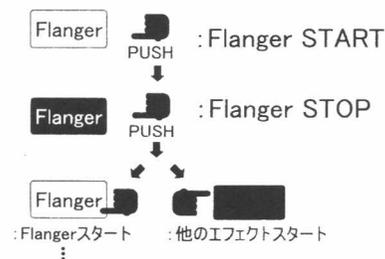
min = DRY音  
センター = DRY音+FLANGER効果(50%)  
max = DRY音+FLANGER効果(100%)

<エフェクトスタートトリガーについて>

FLANGERの動作中、又は動作開始に関して、下記の操作により、常にFLANGERのスタート時の音色変化が得られるようにトリガー機能を搭載しています。

- \* モーメンタリー動作モード時のFLANGERボタンのON時
  - \* オルタネイト動作モード時のFLANGERボタンON時
  - \* BEATセレクトボタン更新時。
- (今の状態と同じボタンや、違うBEATボタン)を押したとき

sw type **Flanger** : オルタネイトモード時のFLANGER動作



sw type **Flanger** : モーメンタリーモード時のFLANGER動作

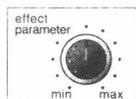


PGMエフェクター機能・操作

**Filter Sweep** : フィルターエフェクト(Hiパスフィルター/LOWパスフィルター)

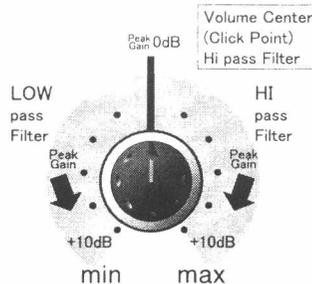
カットオフ周波数を変化させて、フィルターエフェクト効果を得ることが出来ます。  
このエフェクターは、“HIパスフィルター”と“LOWパスフィルター”の2種類どちらかを選択でき、またそれぞれのピークGAIN(レゾナンス)を調整できます。

(effect parameter)

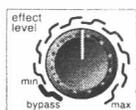


“HIパスフィルター”か“LOWパスフィルター”のどちらかを選択し、またそれぞれのピークGAIN(レゾナンス)を調整します。

min	=LOW PASS FILTER	レゾナンス最大(ピークレベル+10dB)
センター	=HI PASS FILTER	レゾナンス最小(ピークレベル 0dB)
max	=HI PASS FILTER	レゾナンス最大(ピークレベル+10dB)

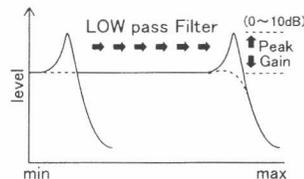


(effect level)

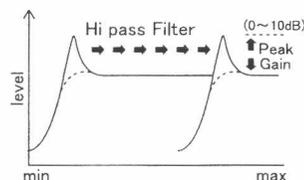


フィルターのピーク周波数を動かすマニュアルフィルター操作ボリュームです。

(LOW PassFilter時)  
min = DRY音を出力  
↓  
max = 最大fcまで可変



(Hi PassFilter時)  
min = DRY音を出力  
↓  
max = 最大fcまで可変

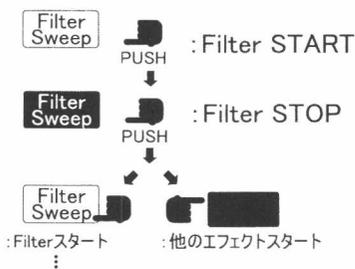


**Filter/Sweepエフェクトを使った DJテクニック**

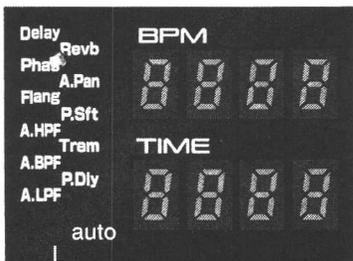
センタークリックにあわせる  
↑  
effect parameter

上記“effect parameter”ボリュームをセンターにするとピーク無しのHi passFilterにセットされます。この状態で、effect levelボリュームを調整して、LOWカットサウンドを作ってISOLATORの様に使用することも出来ます。

sw type **Filter Sweep** : オルタネイトモード時のFilter動作



sw type **Filter Sweep** : モーメンタリーモード時のFilter動作



**BPMとTIME表示についての補足**

Loop、Delay、Flanger等のBPM連動型のエフェクターを御使用になるときは、各エフェクターの時間/周期の限界値があることを先にご確認ください。  
BPM値 × BeatSelect(拍)の設定で、時間/周期が各エフェクトの限界値を超えている場合は、エフェクトON時にそのエフェクトボタン自体が点滅し、左図の表示にて限界値を表示してから、実際の動作もその限界値で動きます。

各エフェクトの限界値については、エフェクト仕様表をご参照ください。

## MICエフェクター機能・操作

### MIC エフェクト機能・操作

PMC580はMICチャンネルに独立した3つのエフェクターを搭載しています。このエフェクターは、マスターエフェクト、PGMエフェクトの状態に影響されずに、独立してMIC音声だけのエフェクト効果を得ることが出来ます。

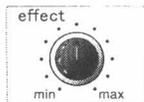
#### CAUTION!!

MICエフェクト音はMASTERエフェクト部を経由せずに、出力部に直接アサインされます。MICエフェクト後にMASTERエフェクトをかけることは出来ません。

### PITCH SHIFTエフェクト

MICボーカル専用の音程変化エフェクトです。MICの音声を±1オクターブの範囲で変化させることが出来ます。(このエフェクト動作時はMICのDRY音は出力せずに、ピッチシフトされた音声だけを出力します。)

(effect)



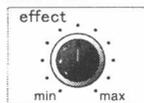
ピッチシフトさせる音程を調整します。

min = 1オクターブ down  
センター = Pitch シフトなし  
max = 1オクターブ up

### DISTORTIONエフェクト

MICボーカル専用のディストーションエフェクトです。MICの音声をドライブさせて、歪みを得ることが出来ます。

(effect)



ピッチシフトさせる音程を調整します。

min = 歪み 小  
センター = 歪み 中  
max = 歪み 大

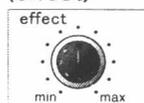
#### CAUTION!!

MIC音声を歪ませると、MICハウリング現象が起りやすくなります。音量、歪み量にご注意ください。

### MIC ECHOエフェクト

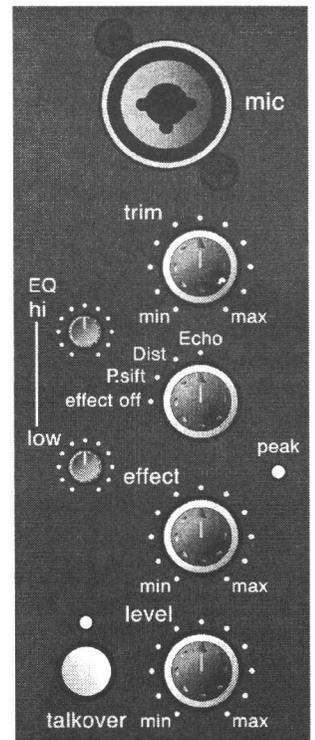
MICボーカル専用のエコーサウンドエフェクトです。このエフェクトのECHO Timeは、100ms固定です。(MIC ECHOには、BPMカウンター、BEATセレクトスイッチで設定される時間は関係ありません。)

(effect)



ECHOの繰り返し回数を調整します。

min = リピート 1回  
↓  
max = リピート 最大(音量による)



## MASTERエフェクター機能・操作

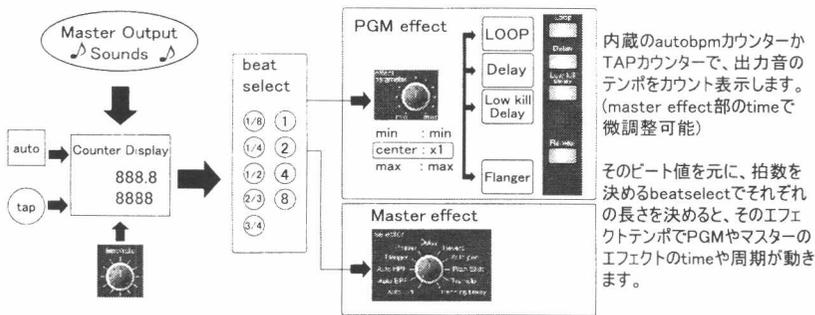
PMC580はMASTERチャンネルに独立した11つのマルチエフェクターを搭載しています。このエフェクターは、PGMエフェクトやMICエフェクトの状態に影響されずに、独立してMASTER音声だけのエフェクト効果を得ることが出来ます。

### マスターエフェクトアサイン機能

3点のエフェクトアサインスイッチにより、MASTER / CF-A側 / CF-B側のいずれかでエフェクトをかける音声を選択することが出来ます。

### BPM 連動機能

本体中央右に搭載されているAUTO BPMカウンター、TAP BPMカウンターのビートにあわせて、各エフェクターのTimeや周期が連動する機能です。



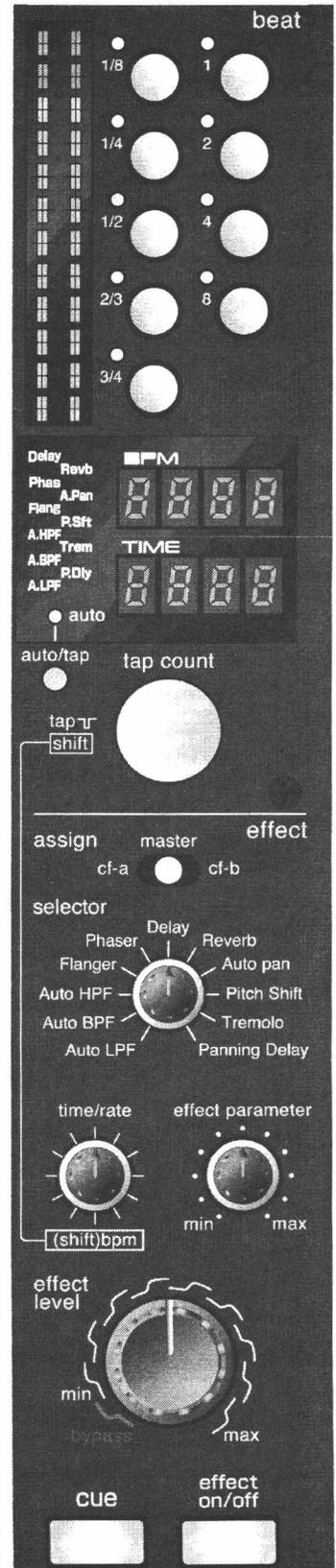
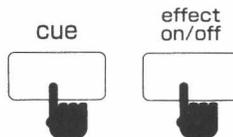
エフェクターの動きは、エフェクト種類によって異なりますので、各エフェクト操作説明をご参照ください。

### マスターエフェクト音のプリモニタリング機能

マスターエフェクトスイッチがOFFの状態でも、エフェクトのかかった音をヘッドホンモニターで確認することが出来ます。(マスターアウトにはエフェクトのかかった音声は出力しません。)

右図のエフェクトon/offボタン横の“cue”ボタンを押して、モニターセクションのモニターセレクトボリュームを“cue”側にすると、ヘッドホン出力からエフェクトのかかった音声をモニターすることができるので、エフェクトプレイの直前に、エフェクト効果を確認することが出来ます。

(注) マスターの“CUE”ボタンと、各PGMの“CUE”ボタンは同時にONすることは出来ません。

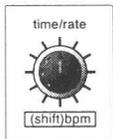


## MASTERエフェクター機能・操作

### AUTO LPF(オートローパスフィルター)

AUTO LPF(オートローパスフィルター)は、BPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたLFO周期で動くAUTOフィルターエフェクターです。

\*PGMエフェクターに搭載されているFILTER/SWEEPエフェクターは、手動でピーク周波数を動かすタイプですが、このマスターエフェクターに搭載されているフィルターエフェクトは、全てBPM同期型のエフェクターです。DJプレイのスタイルに合ったフィルターエフェクトをPGMかMASTERで選ぶことができます。

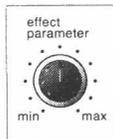


#### <time/rate>

このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたLFO時間が振り当てられます。この状態からエンコーダーを回してLFOの周期時間を微調整をすることが出来ます。

:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整  
(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。

最小LFO RATE 10mSec  
最大LFO RATE 5400mSec (LFO半周期)



#### <effect parameter>

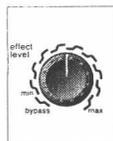
FILTERのレゾナンス(ピークレベル)を調整します。

min → レゾナンス最小(ピークゲイン 0)  
max → レゾナンス最大(ピークゲイン +10dB)

#### <エフェクトスタートトリガーについて>

AUTOフィルターの動作中又は動作開始に関して、下記の操作により、常に同じフィルタースタート時の音色変化が得られるようにトリガー機能を搭載しています。

- \* エフェクトセレクトスイッチで選択されたとき
  - \* エフェクトスタートボタンをOFF→ONにした時
  - \* BEATセレクトボタン更新時。
- (今の状態と同じボタンや違うBEATボタン)を押したとき



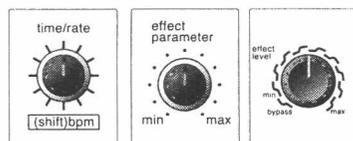
#### <effect level>

DRY音とFILTERエフェクト音のMIXレベルを調整するボリュームです。ボリュームを右に回すと、AUTOFILTERエフェクト音とDRY音の出力割合が変化します。

### AUTO BPF(オートバンドパスフィルター)

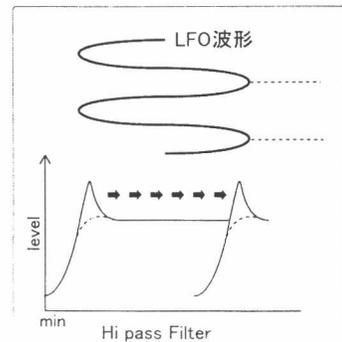
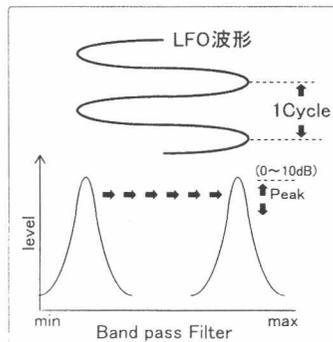
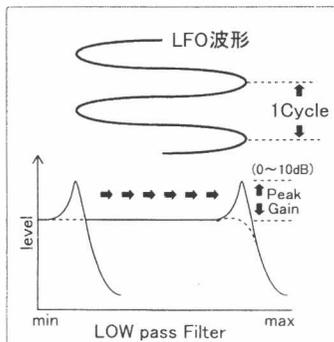
### AUTO HPF(オートハイパスフィルター)

AUTO BPF(オートバンドパスフィルター)、AUTO HPF(オートハイパスフィルター)も上記AUTO LPF同様に、BPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたLFO周期で動くAUTOフィルターエフェクターです。



: 上記AUTO LPFの動作をご参照ください。

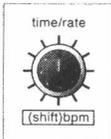
下図のように、BPMカウンター+BEATセレクトで設定されたLFO周期を元に、フィルターのピーク周波数が動きます。



## MASTERエフェクター機能・操作

### FLANGER(フランジャー)エフェクト

フランジャーは、数ミリ・秒遅らせた音を周波数変調しそれをダイレクト音に重ねて入力にフィードバックすることにより、効果を得られるエフェクトです。また、このフランジャーはオート又はマニュアルで計測されたBPMカウンター値とBEATセレクトモードで選択した小節数にあわせた周期で自動的にLFOの周期が調整されます。

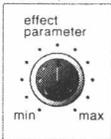


#### <time/rate>

このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたLFO時間が振り当てられます。この状態からエンコーダーを回してLFOの周期時間を微調整をすることが出来ます。

:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整  
(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。

最小LFO RATE 10mSec  
最大LFO RATE 5400mSec (LFO半周期)



#### <effect parameter>

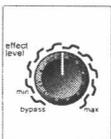
LFOのDEPTH(深さ)を調整します。

min → レゾナンス最小(ピークゲイン 0)  
max → レゾナンス最大(ピークゲイン +10dB)

#### <エフェクトスタートトリガーについて>

AUTO FLANGERの動作中又は動作開始に関して、下記の操作により、常に同じFLANGERスタート時の音色変化が得られるようにリトリガー機能を搭載しています。

- \* エフェクトセレクトスイッチで選択されたとき
- \* エフェクトスタートボタンをOFF→ONにした時
- \* BEATセレクトボタン更新時。  
(今の状態と同じボタンや違うBEATボタン)を押したとき

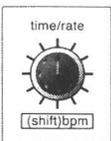


#### <effect level>

DRY音とFLANGERエフェクト音のMIXレベルを調整するボリュームです。ボリュームを右に回すと、AUTO FLANGERエフェクト音とDRY音の出力割合が変化します。

### PHASER(フェイザー)エフェクト

フェイザーは位相を変えた音とDRY音の2つを干渉させて、音色の連続的な変化を作り出すエフェクトです。フェイザーエフェクトは周期的に音色が変化します。その周期はオート又はマニュアルで計測されたBPMカウンター値とBEATセレクトモードで選択した小節数にあわせた値で自動的にLFO周期が設定されます。

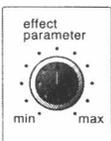


#### <time/rate>

このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたLFO時間が振り当てられます。この状態からエンコーダーを回してLFOの周期時間を微調整をすることが出来ます。

:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整  
(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。

最小LFO RATE 10mSec  
最大LFO RATE 5400mSec (LFO半周期)



#### <effect parameter>

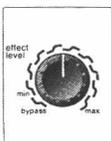
PHASERのレゾナンス(ピークレベル)を調整します。

min → レゾナンス最小  
max → レゾナンス最大

#### <エフェクトスタートトリガーについて>

AUTOPHASERの動作中又は動作開始に関して、下記の操作により、常に同じPHASERスタート時の音色変化が得られるようにリトリガー機能を搭載しています。

- \* エフェクトセレクトスイッチで選択されたとき
- \* エフェクトスタートボタンをOFF→ONにした時
- \* BEATセレクトボタン更新時。  
(今の状態と同じボタンや違うBEATボタン)を押したとき



#### <effect level>

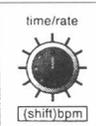
DRY音とPHASERエフェクト音のMIXレベルを調整するボリュームです。ボリュームを右に回すと、AUTOPHASERエフェクト音とDRY音の出力割合が変化します。

## MASTERエフェクター機能・操作

### DELAY(ディレイ)エフェクト

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせてディレイの長さを調整できます。ディレイタイムはステレオで最大5,400ms。

**<time/rate>**  
このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたDELAY時間が振り当てられます。この状態からエンコーダーを回してDELAY時間を調整します。  
:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。



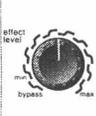
最小DELAY TIME 10mSec  
最大DELAY TIME 5400mSec

**<effect parameter>**  
DELAY音のフィードバック回数を調整します。

min → FEEDBACK 1回  
max → FEEDBACK ∞(holdしない)



**<effect level>**  
DRY音とDELAYエフェクト音のMIXレベルを調整します。ボリュームを右に回すと、DELAYエフェクト音が増加しDRY音が減少して出力割合が変化します。

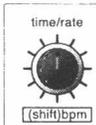


### REVERB(リバーブ)エフェクト

リバーブ効果を得るエフェクトです。リバーブのサイズ調整と入力音:リバーブ音のMIX調整が可能です。

**<time/rate>**  
REVERBのDECAY TIMEを調整します。

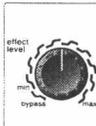
min → 0  
max → 127



**<effect parameter>**  
残響音の大きさを調整します。(ROOM→HALL→PLATEという様に連続的にサイズが大きくなります。)



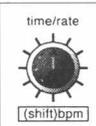
**<effect level>**  
DRY音とREVERB音のMIXレベルを調整します。



### AUTO PAN(オートパンニング)エフェクト

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせて長さを左右に音が飛ぶ交うAUTO PANエフェクターです。

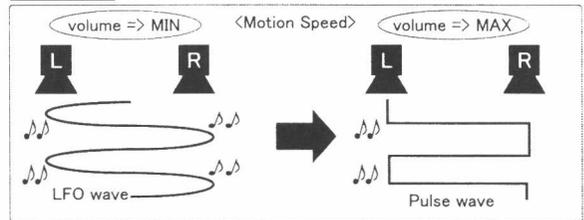
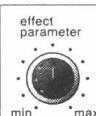
**<time/rate>**  
このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEATセレクトボタンで設定されたDELAY時間が振り当てられます。この状態からエンコーダーを回してDELAY時間を調整します。  
:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。



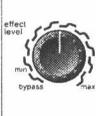
最小LFO RATE 10 mSec  
最大LFO RATE 5400 mSec

**<effect parameter>**  
パンニングのMotion Speedを調整します。

min → LFO: Sin wave  
max → LFO: Pulse wave



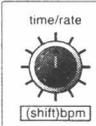
**<effect level>**  
DRY音とAUTO PANエフェクト音のMIXレベルを調整します。ボリュームを右に回すと、AUTO PANエフェクト音の割合が増えていきます。



### PITCH SHIFT(ピッチシフト)エフェクト

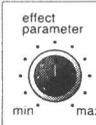
出力音の音程を最大+1oct～最小-100%まで変化させるエフェクトです。

**<time/rate>**  
"effect parameter"で設定したピッチに対し、±50centで音程を微調整します。

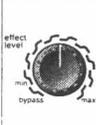


**<effect parameter>**  
音程を調整します。

min → 原音に対して-100% down  
center → ピッチの変化なし (0%)  
max → 原音に対して1オクターブUP



**<effect level>**  
DRY音とPitchShift音とのMIXレベルを調整します。



## MASTERエフェクター機能・操作

### TREMOLO(トレモロ)エフェクト

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせた長さでトレモロします。

**<time/rate>**  
このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEAT  
セレクトボタンで設定されたトレモロ時間が振り当てられます。  
この状態からエンコーダーを回してトレモロ時間を調整します。

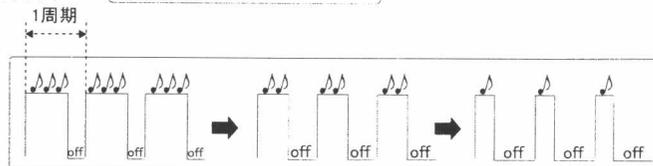
 (shift)bpm

:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整  
(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。

最小TREMOLO RATE 10mSec  
最大TREMOLO RATE 5400mSec

**<effect parameter>**  
デューティー比を調整します。  
テンポにあわせて音がON/OFF  
するタイミングで、ON

 min max



\* デューティー比とは、図の様にON:OFF(1周期)の時間的な比率です。

**<effect level>**  
DRY音とTREMOLOエフェクト音のMIXレベルを調整します。  
ボリュームを右に回すと、TREMOLOエフェクト音とDRY音の  
出力割合が変化します。

 min max

### PANNING DELAY(パンニングディレイ)

オート又はマニュアルで計測されたBPMとBeatモードで選択した小節数にあわせて、ディレイのフィードバック音を左右交互に出力します。ディレイタイムはステレオで最大5,400ms。

**<time/rate>**  
このエンコーダーの初期値にはBPMカウンター値→BEAT  
セレクトボタンで設定されたトレモロ時間が振り当てられます。  
この状態からエンコーダーを回してトレモロ時間を調整します。

 (shift)bpm

:1クリック → ±10mSec(左右回し)の調整  
(エンコーダーのスイッチを押しながら回すと)  
:1クリック → ±1mSecの微調整になります。

最小DELAY TIME 10 mSec  
最大DELAY TIME 5400mSec

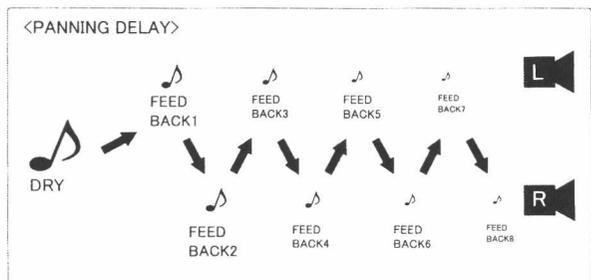
**<effect parameter>**  
DELAY音のフィードバック回数を調整します。

 min max

min → FEEDBACK 1回  
max → FEEDBACK ∞(holdしない)

**<effect level>**  
DRY音とDELAYエフェクト音のMIXレベルを調整します。  
ボリュームを右に回すと、DELAYエフェクト音が増加し  
DRY音が減少して出力割合が変化します。

 min max



## Specification

### - EFFECT -

<PGM>

- LOOP(フレーズループ)
- DELAY(ディレイ)
- LOWカットDELAY(ディレイ)
- REVERB(リバーブ)
- FLANGER(フランジャー)
- FILTER SWEEP(HP,LPフィルター)

<MASTER>

- AUTO LPF(オート ロー パス フィルター)
- AUTO BPF(オート バンド パス フィルター)
- AUTO HPF(オート ハイ パス フィルター)
- FLANGER(フランジャー)
- PHASER(フェイザー)
- DELAY(ディレイ)
- REVERB(リバーブ)
- AUTO PAN(オート パンニング)
- PITCH SHIFT(ピッチシフト)
- TREMOLLO(トレモロ)
- PANNING DELAY(パンニングディレイ)

<MIC>

- PITCH SHIFT(ピッチシフト)
- DISTORTION(ディストーション)
- MIC ECHO(マイクエコー)

### - INPUT / OUTPUT -

PHONO input	RCA PIN JACK
LINE/CD input	RCA PIN JACK
MIC input	COMBO JACK (XLR/PHONE)
DIGITAL input	RCA PIN JACK
RETURN input	RCA PIN JACK
MASTER output	(unbal.) PHONE JACK (bal.) XLR JACK
BOOTH output	(unbal.) PHONE JACK (bal.) XLR JACK
REC1/2(SEND) output	RCA PIN JACK
DIGITAL output	RCA PIN JACK
PHONES output	PHONE JACK
USB input/output	B-type USB JACK
- OPTION -	
DX LINE input	RCA PIN JACK
DX LINE output	RCA PIN JACK

### - GENERAL -

Power	AC-ADAPTOR / AC-20
Power Consumption	40 W
Weight	8.5 kg
Demension	326 (W) × 406 (D) × 100 (H)

Sampling Rate	48kHz
Mixer part	full digital, 32 bit DSP
Effect part	full digital, 24 bit DSP
CPU	32 bit * 2, 16 bit * 3
ADC	24 bit E-Dual bit DELTA-SIGMA 106dB
DAC	24 bit A-Multi bit DELTA-SIGMA 100dB

S/N Ratio	over 75 dBv (JIS-A)
Distortion	less than 0.05%
Freq response	20Hz - 20kHz ±3dB

### - LEVEL -

#### INPUT Level / INPUT Impedance

LINE	-10dBv / 18k ohm
MIC	-50dBv / 5.4k ohm
PHONO	-45dBv / 45k ohm
RETURN	0dBv / 32k ohm

#### OUTPUT Level / Impedance

MASTER	0dBv / over 10k ohm (bal.) over 600 ohm
BOOTH	0dBv / over 10k ohm (bal.) over 600 ohm
REC	-10dBv / over 10k ohm
SEND	0dBv / over 10k ohm
PHONES	190 mW/over 8 ohm/68ohm

### - CHARACTERISTIC -

#### PGM Equalizer / Isolator

<Equalizer>

HI	10kHz	± 12dB
MID	100 - 10kHz	± 12dB
LOW	100Hz	± 12dB

<Isolator>

HI	10kHz	+10dB ~ cut
MID	100 - 10kHz	+10dB ~ cut
LOW	100Hz	+10dB ~ cut

#### MIC Equalizer

HI	3kHz	± 12dB
LOW	100Hz	± 12dB

#### BOOTH/PHONES Equalizer

HI	10kHz	± 12dB
LOW	100Hz	± 12dB

# 故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。  
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECTスイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
	MASTER LEVELボリュームや、各音量ボリューム調整がMINになっていませんか。	各音量ボリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルをPMC-580Pro本体のLINE INPUTに接続していませんか。	PMC-580Pro本体のPHONO INPUTに接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-580Proの出力を、プリメインアンプのPHONO入力に接続していませんか。	プリメインアンプのAUX等の入力に接続し直す。
	出力レベル高いCD、MDプレーヤー等を接続していませんか。	PMC-580ProのGAINボリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にプーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線をPMC-580Pro本体のGNDターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニット、「CF-PCV」をご購入ください。)

## 保証、アフターサービスについて

### 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

#### 保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

#### 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

#### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

#### 修理を依頼される時

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

##### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

##### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。  
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ ( ) -

---

**Vestax Corporation**

---